

こども食堂へぶどうを提供

【平成 30 年 9 月 20 日掲載】

東広島市志和町奥屋のすざわ果樹園（代表者：須澤勝己（すざわかつみ）47 歳，経営面積 1.3ha）は，丁寧な栽培管理によって，今年の厳しい気象条件の中でも，高品質なぶどうを計画通りに生産することができました。その一部を広島市内 5 か所のこども食堂へ無償提供しました。

代表者の須澤さんは就農当初から，子どもたちに「おいしいね！」と言われてもらえるようなぶどうを作りたいという思いで栽培してきました。

そのような中，全国的に注目を集めているこども食堂が県内でも運営されていることを知り，旬のぶどうを子どもたちに味わってもらいたいとの思いで提供を申し出ました。

ぶどうは「ひろしまこども夢財団」のイクちゃんこども食堂ネットワークを通じて各こども食堂へ届けられ，こども食堂からは「ぶどう大好きという 3 歳の女の子は口いっぱいほおぼってペロリと食べていました。」，「おかわり！ぶどうまだある？と言いながら手が伸びていました。」，「どれもおいしいと言って夢中で食べていました。」というような感想が寄せられています。

お礼の言葉を受け取った須澤さんは「子どもたちに喜んでもらえてうれしいですね。とても励みになります。」とおっしゃっています。



【ひろしまこども夢財団にて 右 須澤さん】

【子どもが主役のすざわ果樹園のモチーフ】